

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 19 日

事務事業名		文化財防火デー訓練事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	020501000899
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	090601
		0205 文化財の保存・活用			主要事業		生涯学習課	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり			市長マニフェスト			
施策名		05 文化財の保存・活用			未来PJ事業		グループ	
手段名		01 ①文化財の保存			合併建設計画事業		文化財G	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	04	01	00	文化財保護事業	
法令根拠					単年度繰返し (平成17年度~)			
桜川市文化財保護条例					☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
文化財防火デーは、昭和24年1月26日、奈良県斑鳩町の法隆寺金堂から出火し、国宝の十二面壁画の大半が焼損したことから、文化財防火デーが昭和30年1月26日に定められた。 桜川市では、いつから始められたという正確な資料が無いため、開始時は不明であるが、市内には重要文化財が多数あることから同時期頃から始まったと推測される。 文化財防火デーの内容は、文化財(建造物・彫刻等)消失する恐れがある物について防災の点検・広報活動及び訓練を実施することにある。 平成29年度実施場所 重要伝統的建造物群保存地区(真壁の町並み)	防災点検・指導・広報活動及び文化財防火訓練

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
防災点検・指導・広報活動及び文化財防火訓練	訓練・点検回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
指定文化財	指定文化財数	件	126.00	126.00	126.00	126.00	126.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
防災環境ならびに意識の向上	参加人数	人	90.00	203.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	4	4	9	0
事業費計(A)		千円	4	4	9	0
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	79.00	170.00	100.00	
	人件費計(B)	千円	231	497	293	
トータルコスト(A)+(B)		千円	235	501	302	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)	
	11 需用費	4	11 需用費	9
	合計	4	合計	9

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	文化財防火デー訓練事業	事務事業No.	20501000899	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	国の指導により、指定文化財総数124件(国、県、市)のなかから、毎年1件を選んで防火訓練を実施する。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	開催時期が一月末という厳寒のため、水を出さないで訓練できないかという意見がある
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	開催を周知徹底し、より多くの地元住民参加を促す。 厳寒の時期のため、天候により参加者の増減がある。解決策としては、住民側の参加が必要と感じてもらえるような情報公開、啓発活動を推進する。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	文化財防火デーを行うことで、文化財の保護・活用をするだけでなく、幅広く重要性を周知している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	国・県・市の指定になっている文化財で行われているため、市が主導で行うのが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	関係者及び消防署が主で実施しており、地元住民の参加が少ない場合があるので、多くの住民が参加するように向上させる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	事業を廃止することで防火の意識を損なえば、文化財が失われる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似の事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費…必要最小限で行っている。 人件費…必要最小限で行っている。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	対象文化財の順序を決めて行っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	文化財の防災意識を向上させるため、毎年、市内の旧町村を3年で一回りするように建造物文化財のある場所で訓練を行っているが、消防関係者と地元関係者がほとんどで、住民の参加が少ない。 また、開催時期が1月末であることから、水を使った訓練は体感的に厳しいものがある。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
地域住民の参加が少ない課題である。その解決策として、広報活動を積極的に行い、周知を徹底して、参加を促す。																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
	(6) 事務事業優先度評価結果																						
	成果優先度評価結果 ⑥																						
	コスト削減優先度評価結果 ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認